講演題目は14ptのゴシック系フォントで中揃えすること

名大・院理1、大同大・工2　○表面花子1、中部太郎2 (講演者に「○」を付ける)

本原稿は、中部支部学術講演会の講演予稿テンプレート(MS Word版)です。以下の注意点に沿って作成していただければ、他のソフトで原稿作成しても構いません(提出はPDF形式のみ可)。

予稿原稿は**A4用紙1枚**で、**上下余白20mm、左右余白25mm**としてください。講演題目は14ptのゴシック系フォント中揃え、所属・氏名は12ptの明朝系フォント右揃え、本文は11〜12ｐｔの明朝系フォント左右揃えとしてください。所属・氏名の前後には1行相当の空白を入れてください。

所属は「名大・理」(名古屋大学理学部)、「名大・院工」(名古屋大学大学院工学研究科)のように省略形を用い、複数の所属がある場合には右肩の上付き数字で氏名との対応関係を示してください。また、**講演者氏名の左には必ず「○」を付けて**ください。

本文行間は標準を18ptとしますが、必要に応じて多少増減して構いません。本文には図表を含めて構いません。図表と文字との間隔は上下2mm、左右3mm程度とし、図のキャプションも必ず含めてください。また、図やキャプションは本文の文字列と一緒に移動しない設定としたほうがトラブルを生じにくいです。必要であれば、参考文献のリストを末尾に記載して構いません。

図1：図のキャプションは10〜11ptの明朝系フォント左右揃え(あるいは中揃え)としてください。行間は16ptが標準。

講演予稿の原稿は、**PDF形式に変換**し、**ファイル名を「講演者氏名.pdf」**としてから送付してください。**ファイルサイズは2MB以下**となるように画像解像度を調整してください。

講演申し込みは、予稿原稿の提出をもって受け付けます。**(1)講演者氏名(ふりがな)、(2)所属(大学名・学部等)、学年(または役職)、 (3) E-mailアドレス、(4)参加区分 (表面真空学会会員／非会員の方は会員登録お願いします)、(5)チュートリアル講演の質問・要望** をメール本文に記載し、**予稿原稿を添付**して、所定の申込先e-mailアドレスに送付してください。

講演は**全て口頭講演**(講演時間10分＋質疑応答5分を予定)です。**プレゼンは縦横比3:4で作成**してください。

中部支部学術講演会では講演奨励賞(博士・ポスドク・助教部門、学部・修士部門)を選出・表彰します。受賞者は後日メールにて発表します。